

社内報 10 月号

株式会社NITTOH

ガソリンスタンドライニング工事

東京営業所では、今年度はじめから準備しているガソリンスタンドにある地下タンクライニング工事の研修がほぼ終え、10月よりいよいよ実施工に入ります。狭いタンク内の工事で、やり直しの効かない高い施工品質を求められます。



現場の施工状況

リフォーム博に向けて

11月3日、4日に今年もウイंकあいちで、グループ全体でのリフォーム博を開催します。昨年以上の集客を行い成功させるためには、事前の準備をいかに行うかにかかっており、今月の活動がとて重要です。全員で、この機会に是非お客様に会場に足を運んでいただき、当社グループ全体の活動を肌で感じてもらえるように働きかけて下さい。普段の営業活動は個人の口頭での活動になってしまうので、この機会に、リフォームをはじめ多くの展示や活動を実際に目で見てもらえれば、今後の営業活動に大いにプラスになることと思います。

北陸営業所にリフォームショールームを

北陸営業所の1階倉庫にリフォームショールームを造ります。これで、デアール店は、全

8店になります。10月に着工し、年内には完成し、来年から営業を開始します。

ガラスクリーニングコンテスト 全国大会で大活躍

9月30日、千葉県で全国ガラスクリーニングコンテストが開催され、全国の予選を勝ち抜いた選手たちが参加しました。ビルワークの出場選手は大活躍し、東京から出場の藤瀬選手が3位、鶴谷選手が5位、加藤選手が10位。そして、愛知大会を優勝し名古屋から参加した石原選手が6位と、10位以内に4人が入る快挙となりました。女子の部で、東京大会を優勝して出場した村上選手は、惜しくも女子の部2位となりました。出場選手の皆さんお疲れさまでした。ビルワークの全国レベルの実力を証明してくれました。

セブンハウス会社案内完成

木のイメージのセブンハウスの会社案内が出来上がりました。社章の変更、事務所の改装、そして新しい会社案内と、会社のブランドイメージの確立を進めています。無垢の木をふんだんに使用したテラ工法の家をはじめ、木を愛する健康的な住宅をアピールしています。

会社案内



NJT 新聞広告

10月より、日本住宅耐震補強も中日新聞の夕刊に、新聞広告を掲載し「木造住宅の耐震補強なら日本住宅耐震補強」と、愛知、岐阜、三重を中心に耐震補強を考える住宅オーナーに向けて宣伝活動を強化します。代理店様に向けたアイワン工法の普及を強化するためにもエンドユーザーに向けて、NJT やアイワン工法の知名度を今まで以上にアピールしていきます。また、アイワンを含めて総合的に優れた耐震補強という訴求を強化していきます。

コラム 既得権の壁

9月某日の日経新聞に雇用に関する興味ある記事がでていました。内容は、中高年正社員の既得権益が若者の雇用や、社会の活力に悪影響を及ぼしているというものです。中高年正社員は60才の定年まで雇用をしなくては行けないので、若者の雇用を控える。日本では解雇に対する制限が強いので、新たに雇用を増やすのに躊躇して、非正規労働者、いわゆる契約社員として雇用する。就職難でやっとの思いで派遣社員として働きはじめ、一生懸命頑張り、誰の目からも、中高年の正社員よりも貢献している若者が、会社の業績ダウンの折りには最初に契約を打ち切られる。理由は「正社員は切れないんだ。申し訳ない。」これでは若者はやる気をなくし、優秀な若者はそんな社会に嫌気がさして海外に流出する。社会は悪循環で、会社の業績や経済状況は益々悪くなり失業率が高まる。海外の興味深い事例が掲載されていたので紹介します。スペインは25才未満の失業率が50%を越えているが、スペインは解雇制限が厳しく人員整理のコストが膨大で、結果として企業は採用に消極的となっているという。そして若者は職を求めて、外国へ流出している。一方、デンマークは、解雇規制は他の国よりも緩いが、失業率は14%とEU平均(22.5%)よりかなり低い。転職や失業を恐れる若者は少ないという。日本が正社員に対する過保護を続ければ若者のチャンスはさらに減り、中高年が衰退産業にたまっていき、経済大国日本は完全に過去のものとなる。

一方で、人口減による労働力不足が懸念され、社会保障費の削減のためにも、高齢者にしっかり仕事をしてもらい稼いでもらわないと困るという一面がある。ある政治家が、定年制を撤廃すべきだと言っていた。ただし、解雇制限も撤廃するという条件付である。60才になったからと言って、全員を一律に定年退職するという制度は、憲法の個人の尊重や基本的人権の尊重という面に抵触するのではないかという考え方もある。正社員を過保護に解雇制限をするかわりに、定年制は設けさせてもらうというバランスで日本の企業が成り立っているのが現実である。とやかく言っても、私達は今の日本の制度の中で生きていけないといけない。解雇制限も無く、定年制もないという社会は実現性が乏しいと思われるが、仮にそうなったとしても企業は、むやみに人を解雇することもないであろう。そんなところでは、人間は喜んで働かないし能力も発揮しない。私達は、「そもそも、人間はどうあるべきか」といったことを常に念頭においておくべきである。法律や損得に惑わされず、どんな法

律になろうと、それを運用する組織が人間的な部分で矛盾をせずに上手く機能していればよいのである。各労働者はその組織にとって役に立ってなくてはならないし、労働者も役に立ちたいと思っているはずである。だから、役に立つように本人も企業も一生懸命に努力す

べきなのが大前提であるが、それが崩れた中で、議論しても議論がおかしくなる。制度として、人間を強く自立させる法律にするか、社会主義的に一律に守る方向に進めるかは、人間の根本的な信条というものによって決定され、どちらが正しいという問題ではない。当

社は、現実社会で生きている組織であるから、人間の活力を信じ、個人の能力を尊重し、強く生きることを応援し、甘やかしたところであつたことにはならないという思いがある。

営業所だより

設備課の紹介

10月の営業所だよりは、法人営業部設備課が担当します。

春日井事業所は名鉄春日井駅のすぐ側に建っています。設備課は、以前は名古屋市北区の本社にありましたが、平成18年7月に春日井事業所の設立とともに移転をしました。築年数が6年とまだ新しいので大変綺麗な事務所です。

毎月10日に事務所周辺の清掃を行うニットクリーンで、最近ではご近所の方から「いつもご苦労様」と声をかけていただき、少しは地元根付いてきたかなと思います。

春日井事業所の1階には春日井営業所と倉庫があり、2階には法人営業部2課と設備課が机を並べて仕事をしています。

設備課は男性7人、女性2人の9人で業務を行っています。昨年は設備課のムードメーカーでもあった杉本係長が病気で他界されるという悲しい出来事がありました。普段は厳しく仕事に取り組んでいます。いまでも杉本係長の祥月命日には杉本家に集まり、杉本係長を偲びながら食事をしたり、毎年恒例の釣り旅行に行ったりと親睦を深めています。

床暖房の施工を行っている設備課はこれからが繁忙期。物件数も増加し、修理依頼も増える時期でもあり対応の早さが求められます。今以上に気を引き締めて仕事に取り組みたいです。設備課がさらに成長していけるよう課員一同、力を合わせて頑張ります！これからもよろしくお願いいたします。



ちょっと一言

「自分の言葉で」

奈良営業所
細川拓也



皆さんこんにちは。奈良営業所・防虫担当の細川です。

残暑も落ち着き、やっと秋らしくなってきました。行楽のシーズンに皆さんも休日の予定など計画されている事かと思ます。

さてタイトルの「自分の言葉で」ですが、仕事上や普段の生活のなかで色々な方と会話をする機会がありますが、会話の印象が残る人、長い時間会話をかわしても印象に残らない人など様々です。

もちろん人により相性は有りますが、私が会話の印象が残る人はその人が学んだ事や経験した事をふまえて自分の言葉で話す人ではないかと思ます。自分の言葉には責任があり言葉の重みがあります。

仕事をするうえで、もし優れた営業マニュアルがあったとしてもそのマニュアルをお客様に話すだけでは、お客様には十分には伝わらないのではないのでしょうか。

それを思うと、普段の私はどれだけ自分の言葉で話すことが出来ているのかと考えさせられます…。

10月になり40期下半期がスタートしました。皆さんもそれぞれの目標に向かってがんばりましょう！

★Happy News★

資格取得おめでとうございます

★三河工務 西脇 強
一級防水施工技能士

